

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券	
信託期間	3年間（2013年6月28日～2016年6月27日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストークレディ・スイス・グローバルCB・ファンド（円ヘッジクラス）」（以下「グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）」）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストークレディ・スイス・グローバルCB・ファンド（ノンヘッジクラス）」（以下「グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）」）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
運用方法	為替ヘッジあり	①主として、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、魅力的な利回り水準を有する世界の転換社債（CB）に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
	為替ヘッジなし	①主として、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券を通じて、魅力的な利回り水準を有する世界の転換社債（CB）に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額から分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ・グローバル  
高利回りCBファンドⅡ  
為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

運用報告書（全体版）  
第5期

（決算日 2016年3月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<2674>

<2675>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	元残 本率
	(分配) 落	税 込 分 配 金	期 騰 落 額	中 期 騰 落 率				
設 定 (2013年6月28日)	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1 期末 (2014年3月10日)	10,025	280	305	3.1	4.3	0.1	99.0	96.9
2 期末 (2014年9月10日)	10,007	100	82	0.8	3.2	0.1	98.2	86.5
3 期末 (2015年3月10日)	9,827	100	△ 80	△0.8	1.8	0.0	99.3	78.5
4 期末 (2015年9月10日)	9,790	100	63	0.6	1.7	0.0	99.0	71.5
5 期末 (2016年3月10日)	9,599	100	△ 91	△0.9	1.0	0.0	98.6	58.9

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

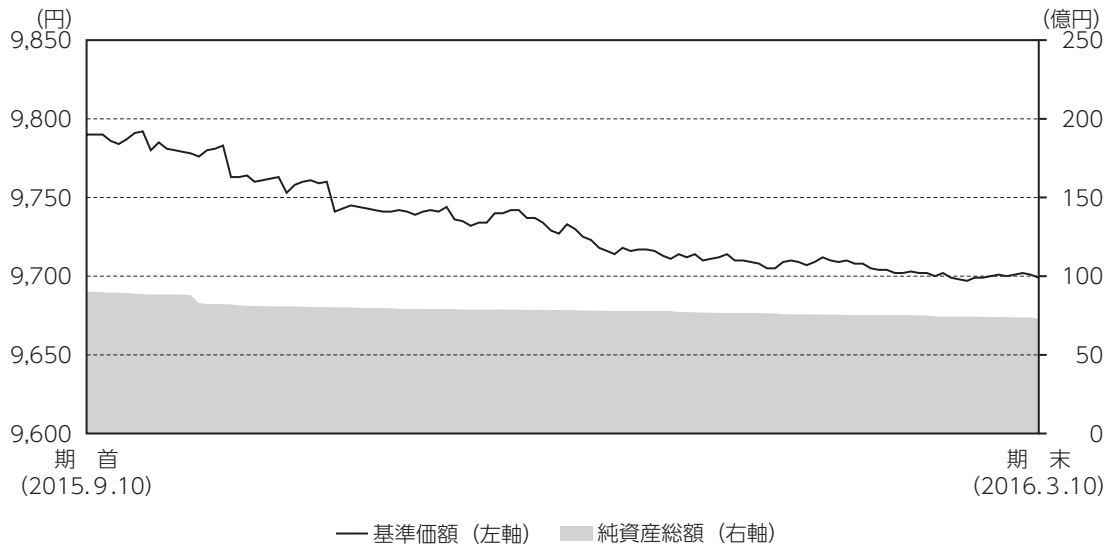
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

### ■基準価額・騰落率

期首：9,790円

期末：9,599円 (分配金100円)

騰落率：△0.9% (分配金込み)

### ■基準価額の主な変動要因

魅力的な利回り水準を有する世界のC B (転換社債) 等に投資した結果、投資したC B等がグローバルC B市況の影響を受けて値下がりしたため、基準価額は下落しました。なお、外貨建資産への投資にあたっては、為替変動リスクを低減するために為替ヘッジを行なったことにより、為替相場の変動の基準価額への影響は軽微でした。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジあり

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2015年 9月10日	円 9,790	% -		% 0.0	% 99.0
9 月末	9,780	△0.1		0.0	98.3
10月末	9,743	△0.5		0.0	98.0
11月末	9,740	△0.5		0.0	98.0
12月末	9,713	△0.8		0.0	98.3
2016年 1 月末	9,709	△0.8		0.0	98.2
2 月末	9,699	△0.9		0.0	98.0
(期末) 2016年 3月10日	9,699	△0.9		0.0	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○グローバルC B市況

グローバルC B市況は下落しました。期首から2015年9月末にかけては、F O M C（米国連邦公開市場委員会）で利上げが見送られ世界経済の先行きを懸念するムードが強まったことや、ドイツ自動車大手の排ガス不正問題などの悪材料が重なり、下落しました。10月末にかけては、ドラギE C B（欧州中央銀行）総裁の発言から追加金融緩和への期待が急速に高まったことや中国の追加的な金融緩和の発表が好感され、反発しました。その後12月末にかけては小幅な値動きにとどまりましたが、2016年に入り2月中旬にかけては、中国株式市況や人民元の急落、原油価格の下落、中東などの地政学リスクの高まり、欧州の一部大手銀行に対する信用不安などを背景に大きく下落しました。期末にかけては、米国の小売売上高が堅調だったことから米国の景気に対する懸念が後退したことや、ドラギE C B総裁の追加緩和策に関する言及、原油価格の反発などを背景に、下げ幅を縮小する展開となりました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

ダイワ・プレミアム・トラスト・クレディ・スイス・グローバルC B・ファンド（円ヘッジクラス）（以下、「グローバルC Bファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券に投資します。また、通常の状態、グローバルC Bファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○グローバルC Bファンド（円ヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のC Bに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象C Bは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっていくと見られます。従ってすでに残存期間の短い債券の組入比率は高まっていますが、今後償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券などの組入比率がさらに上昇することが想定されます。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

### ○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、グローバルC Bファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、グローバルC Bファンド（円ヘッジクラス）の受益証券への投資比率は高位を維持しました。

### ○グローバルC Bファンド（円ヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のC Bに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。なお、投資対象C Bは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなってきました。従って償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券へ投資をしました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

### ○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は100円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益が211,435,514円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益211,435,514円（1万口当り278.78円）を分配対象額として、うち75,842,800円（1万口当り100円）を分配金額としております。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

グローバルＣＢファンド（円ヘッジクラス）の受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券に投資します。また、通常の状態、グローバルＣＢファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

なお、満期償還に備えるため、市況動向、市場への影響、売買タイミング、その他諸要因を考慮し、償還日（2016年6月27日）の1カ月程度前をめどに、わが国の短期金融資産を中心とした安定運用に切替えていきます。

### ○グローバルＣＢファンド（円ヘッジクラス）

投資対象ＣＢは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっています。従ってすでに残存期間の短い債券の組入比率は高まっていますが、今後は償還に向けて現金の比率が高まる予定です。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

### ○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.9.11~2016.3.10)		
	金 額	比 率	
信託報酬	59円	0.607%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は9,732円です。</b>
(投信会社)	(21)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(37)	(0.376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	59	0.611	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年9月11日から2016年3月10日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国(邦貨建)	3,159.395	276,573	18,904.842	1,720,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
 (注2) 金額は受渡し代金。  
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年9月11日から2016年3月10日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	-	-	3,992	4,000

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年9月11日から2016年3月10日まで)

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	口 数	金 額	平均単価	銘	柄	口 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
					CS GLOBAL CB FUND (JPY HEDGED CLASS) (ケイマン諸島)		18,904.842	1,720,000	90

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年9月11日から2016年3月10日まで)

決 算 期	当			期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	11,838	1,000	8.4	-	-	-
コール・ローン	477,894	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%  
 ※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期		末
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
CS GLOBAL CB FUND (JPY HEDGED CLASS)	81,952.427	7,178,458	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千円	千円	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	4,998	1,006	1,008

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	7,178,458	96.6
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	1,008	0.0
コール・ローン等、その他	252,517	3.4
投資信託財産総額	7,431,985	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年3月10日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>7,531,985,266円</b>
コール・ローン等	152,517,812
投資信託受益証券(評価額)	7,178,458,964
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	1,008,491
未収入金	199,999,999
<b>(B) 負債</b>	<b>251,586,066</b>
未払金	100,000,000
未払収益分配金	75,842,800
未払解約金	30,332,702
未払信託報酬	45,091,239
その他未払費用	319,325
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>7,280,399,200</b>
元本	7,584,280,074
次期繰越損益金	△ 303,880,874
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>7,584,280,074□</b>
1万口当り基準価額(C / D)	9,599円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,599円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は303,880,874円です。

■損益の状況

当期 自2015年9月11日 至2016年3月10日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>276,611,201円</b>
受取配当金	276,573,525
受取利息	37,676
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△157,698,527</b>
売買益	3,953
売買損	△157,702,480
<b>(C) 有価証券評価差損益</b>	<b>△145,604,807</b>
<b>(D) 信託報酬等</b>	<b>△ 48,445,682</b>
<b>(E) 当期損益金(A + B + C + D)</b>	<b>△ 75,137,815</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>△192,981,664</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>40,081,405</b>
<b>(H) 合計(E + F + G)</b>	<b>△228,038,074</b>
<b>(I) 収益分配金</b>	<b>△ 75,842,800</b>
次期繰越損益金(H + I)	△303,880,874

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

<b>収 益 分 配 金 の お 知 ら せ</b>	
<b>1 万 口 当 り 分 配 金 (税込み)</b>	<b>100円</b>

**分配金の課税上の取扱いについて**

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

★ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	元残 本率
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
設定 (2013年6月28日)	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期末 (2014年3月10日)	10,562	280	842	8.4	12.0	0.1	97.4	72.4
2期末 (2014年9月10日)	10,486	300	224	2.1	8.8	0.1	98.1	53.7
3期末 (2015年3月10日)	11,118	300	932	8.9	11.7	0.1	99.1	46.1
4期末 (2015年9月10日)	10,921	300	103	0.9	9.5	0.1	97.3	40.8
5期末 (2016年3月10日)	10,004	180	△737	△6.7	5.0	0.0	98.0	29.8

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

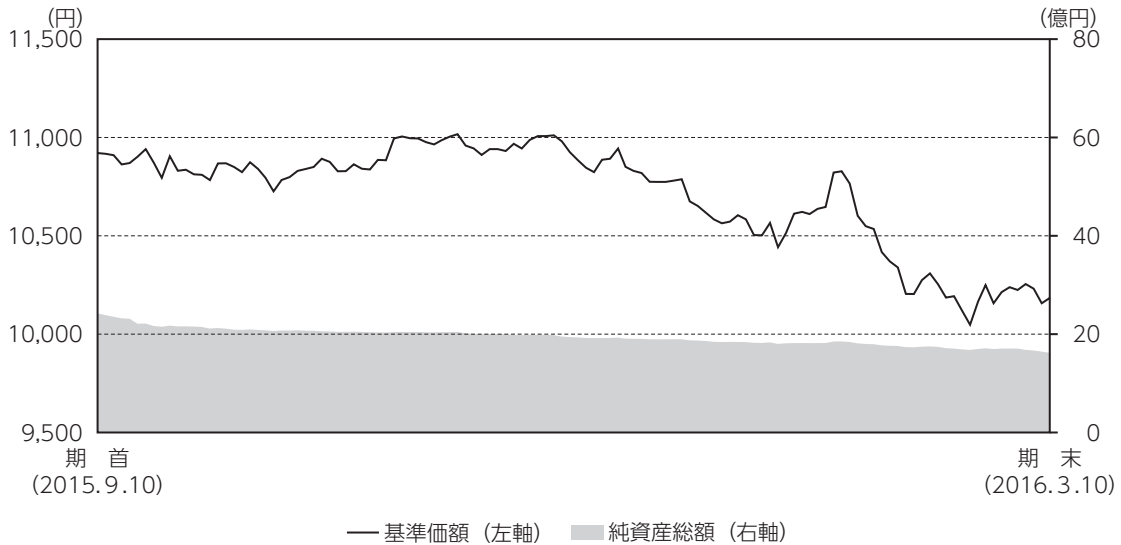
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

#### ■基準価額・騰落率

期首：10,921円

期末：10,004円 (分配金180円)

騰落率：△6.7% (分配金込み)

#### ■基準価額の主な変動要因

魅力的な利回り水準を有する世界のC B (転換社債) 等に投資した結果、投資したC B等はグローバルC B市況の影響を受けて値下がりしました。さらに、為替相場は大幅に円高米ドル安となったことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジなし

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2015年 9月10日	円 10,921	% -		% 0.1	% 97.3
9 月末	10,836	△0.8		0.1	97.8
10月末	10,864	△0.5		0.1	98.0
11月末	10,931	0.1		0.1	97.9
12月末	10,781	△1.3		0.0	97.8
2016年 1 月末	10,647	△2.5		0.0	97.9
2 月末	10,250	△6.1		0.0	97.9
(期末) 2016年 3月10日	10,184	△6.7		0.0	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○グローバルＣＢ市況

グローバルＣＢ市況は下落しました。期首から2015年9月末にかけては、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で利上げが見送られ世界経済の先行きを懸念するムードが強まったことや、ドイツ自動車大手の排ガス不正問題などの悪材料が重なり、下落しました。10月末にかけては、ドラギＥＣＢ（欧州中央銀行）総裁の発言から追加金融緩和への期待が急速に高まったことや中国の追加的な金融緩和の発表が好感され、反発しました。その後12月末にかけては小幅な値動きにとどまりましたが、2016年に入り2月中旬にかけては、中国株式市況や人民元の急落、原油価格の下落、中東などの地政学リスクの高まり、欧州の一部大手銀行に対する信用不安などを背景に大きく下落しました。期末にかけては、米国の小売売上高が堅調だったことから米国の景気に対する懸念が後退したことや、ドラギＥＣＢ総裁の追加緩和策に関する言及、原油価格の反発などを背景に、下げ幅を縮小する展開となりました。

### ○為替相場

為替相場は大幅に円高米ドル安となりました。米ドル円為替相場は、期首から2015年10月末にかけては小動きでした。11月末にかけては、米国で堅調な雇用統計が発表され年内の利上げ観測が強まり、円安となりました。12月末にかけては、米国は利上げを決定したものの今後の利上げのペースは緩やかとの見方が強まったことや、日銀の量的・質的金融緩和の補完措置は将来の追加金融緩和の先送りにつながるものと解釈されたことで円高となり元の水準に戻る展開となりました。2016年1月前半は、中国株式市況や人民元の下落をきっかけに世界的に株安となったことや原油価格が下落したことで、リスク回避の動きが強まり円高となりました。ただし1月末にかけては、日銀のマイナス金利導入により円安になり元の水準に戻る展開となりました。期末にかけては、米国景気への懸念の強まりや一部欧州の銀行の信用力への懸念などから市場のリスク回避姿勢が強まり、大幅に円高米ドル安となりました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

ダイワ・プレミアム・トラスト・クレディ・スイス・グローバルＣＢ・ファンド（ノンヘッジクラス）（以下、「グローバルＣＢファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券に投資します。また、通常の状態、グローバルＣＢファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ○グローバルＣＢファンド（ノンヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のＣＢに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象ＣＢは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっていくと見られます。従ってすでに残存期間の短い債券の組入比率は高まっていますが、今後償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券などの組入比率がさらに上昇することが想定されます。

### ○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、グローバルC Bファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、グローバルC Bファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券への投資比率は高位を維持しました。

### ○グローバルC Bファンド（ノンヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のC Bに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。なお、投資対象C Bは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなってきました。償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券へ投資をしました。

### ○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期の1万口当たり分配金（税込み）は180円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益52,097,012円が、純資産額の元本超過額29,835,253円を超過しているため、経費控除後の配当等収益52,097,012円（1万口当たり321.60円）を分配対象額として、うち29,158,711円（1万口当たり180円）を分配金額としております。



## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

グローバルＣＢファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券に投資します。また、通常の状態、グローバルＣＢファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

なお、満期償還に備えるため、市況動向、市場への影響、売買タイミング、その他諸要因を考慮し、償還日（2016年6月27日）の1カ月程度前をめどに、わが国の短期金融資産を中心とした安定運用に切替えていきます。

### ○グローバルＣＢファンド（ノンヘッジクラス）

投資対象ＣＢは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっています。従ってすでに残存期間の短い債券の組入比率は高まっていますが、今後は償還に向けて現金の比率が高まる予定です。

### ○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.9.11~2016.3.10)		
	金 額	比 率	
信託報酬	65円	0.607%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は10,706円です。</b>
(投信会社)	(23)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(40)	(0.376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	65	0.611	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年9月11日から2016年3月10日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国(邦貨建)	748.194	70,640	6,250.399	655,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
 (注2) 金額は受渡し代金。  
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年9月11日から2016年3月10日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	-	-	1,996	2,000

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年9月11日から2016年3月10日まで)

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	口 数	金 額	平均単価	銘	柄	口 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
					CS GLOBAL CB FUND (NON HEDGED CLASS) (ケイマン諸島)		6,250.399	655,000	104

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年9月11日から2016年3月10日まで)

決 算 期	当				期			
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C		
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%		
公社債	11,838	1,000	8.4	-	-	-		
コール・ローン	477,894	-	-	-	-	-		

(注) 平均保有割合0.0%  
 ※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
CS GLOBAL CB FUND (NON HEDGED CLASS)	16,579.166	1,587,488	98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,499	503	504

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,587,488	94.5
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	504	0.0
コール・ローン等、その他	92,408	5.5
投資信託財産総額	1,680,401	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年3月10日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,680,401,140円</b>
コール・ローン等	92,408,590
投資信託受益証券(評価額)	1,587,488,305
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	504,245
<b>(B) 負債</b>	<b>59,796,186</b>
未払収益分配金	29,158,711
未払解約金	19,860,399
未払信託報酬	10,698,402
その他未払費用	78,674
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>1,620,604,954</b>
元本	1,619,928,412
次期繰越損益金	676,542
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,619,928,412口</b>
1万口当り基準価額(C / D)	10,004円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,004円です。

■損益の状況

当期 自2015年9月11日 至2016年3月10日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>70,651,141円</b>
受取配当金	70,640,787
受取利息	10,354
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>25,885,703</b>
売買益	29,453,545
売買損	△ 3,567,842
<b>(C) 有価証券評価差損益</b>	<b>△212,770,025</b>
<b>(D) 信託報酬等</b>	<b>△ 11,946,580</b>
<b>(E) 当期損益金(A + B + C + D)</b>	<b>△128,179,761</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>204,300,996</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 46,285,982</b>
<b>(H) 合計(E + F + G)</b>	<b>29,835,253</b>
<b>(I) 収益分配金</b>	<b>△ 29,158,711</b>
次期繰越損益金(H + I)	676,542

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は15ページをご参照ください。

<b>収 益 分 配 金 の お 知 ら せ</b>	
<b>1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)</b>	<b>180円</b>

**分配金の課税上の取扱いについて**

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ・プレミアム・トラストークレディ・スイス・グローバルCB・ファンド  
円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス

当ファンド（ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストークレディ・スイス・グローバルCB・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年3月10日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表  
2014年12月30日

<b>資産</b>	
投資、時価（費用 11,217,636,403円）	円 12,249,406,751
現金	759
外国通貨、時価（費用 5,250円）	5,236
為替先渡契約による評価益	53,218,022
為替先渡契約のカウンターパーティへの預託金	690,000,000
未収：	
利子	100,669,737
前払受託会社報酬	1,791,061
<b>資産合計</b>	<b>13,095,091,566</b>
<b>負債</b>	
未払い：	
投資運用報酬	6,687,268
専門家報酬	6,112,401
会計および管理報酬	1,383,114
保管報酬	940,851
名義書換代理報酬	251,727
<b>負債合計</b>	<b>15,375,361</b>
<b>純資産</b>	<b>円 13,079,716,205</b>
<b>純資産の内訳：</b>	
払込資本金	円 12,998,679,297
累積黒字	81,036,908
<b>純資産</b>	<b>円 13,079,716,205</b>
円ヘッジクラス	円 10,183,503,439
ノンヘッジクラス	2,896,212,766
	<b>円 13,079,716,205</b>
<b>発行済み受益証券数</b>	
円ヘッジクラス	105,975,192
ノンヘッジクラス	25,793,838
<b>1口当りの純資産</b>	
円ヘッジクラス	96.093
ノンヘッジクラス	112.283

(日本円建て)

**損益計算書**

2014年12月30日に終了した年度

<b>投資収益</b>		
利息収入	円	699,546,503
<b>投資収益合計</b>		<b>699,546,503</b>
<b>費用</b>		
投資運用報酬		90,890,229
会計および管理報酬		10,180,066
専門家報酬		7,736,958
保管報酬		5,864,374
名義書換代理報酬		1,951,820
受託会社報酬		317,810
<b>費用合計</b>		<b>116,941,257</b>
<b>純投資収益</b>		<b>582,605,246</b>
<b>実現益および評価益（実現損および評価損）：</b>		
<b>実現益（損）：</b>		
有価証券への投資		942,144,039
為替取引および為替先渡契約		(1,138,779,815)
<b>純実現損</b>		<b>(196,635,776)</b>
<b>評価益（損）の純変動：</b>		
有価証券への投資		7,660,486
為替換算および為替先渡契約		197,119,967
<b>評価益の純変動</b>		<b>204,780,453</b>
<b>実現益および評価益</b>		<b>8,144,677</b>
<b>業務活動の結果生じた純資産の純増</b>	円	<b>590,749,923</b>

## ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ

当ファンド（ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・クレディ・スイス・グローバルC B・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスに共通です。

（注）2016年3月10日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

### 投資明細表 2014年12月30日

元本金額	有価証券の明細	純資産に占める割合 (%)	公正価値	元本金額	有価証券の明細	純資産に占める割合 (%)	公正価値
USD 2,000,000	債券 (90.0%)			USD 500,000	インド (5.1%)		
	オーストラリア (1.8%)				転換社債 (5.1%)		
	転換社債 (1.8%)				Fortis Healthcare, Ltd.		
	Paladin Energy, Ltd.				5.00% due 05/18/15		59,687,499
	3.63% due 11/04/15		円 232,184,371		Jaiprakash Power Ventures, Ltd.		
	転換社債計		<u>232,184,371</u>	5.00% due 02/13/15		328,579,682	
	オーストラリア計 (費用 191,459,492円)		<u>232,184,371</u>	REI Agro, Ltd.			
	オーストラリア (2.4%)			5.50% due 11/13/14		40,587,499	
	転換社債 (2.4%)			Videocon Industries, Ltd.			
	Conwert Immobilien Invest SE			6.75% due 12/16/15		243,972,652	
	4.50% due 09/06/18		317,291,961	転換社債計		<u>672,827,332</u>	
	転換社債計		<u>317,291,961</u>	インド計 (費用 760,923,583円)		<u>672,827,332</u>	
	オーストラリア計 (費用 278,894,556円)		<u>317,291,961</u>	アイルランド (2.1%)			
	ベルギー (2.5%)			社債 (2.1%)			
	転換社債 (2.5%)			Novatek OAO via Novatek Finance, Ltd.			
	Cofinimmo S.A.			5.33% due 02/03/16		171,040,497	
	3.13% due 04/28/16		321,071,511	VEB-Leasing Via VEB Leasing Investment, Ltd.			
	転換社債計		<u>321,071,511</u>	5.13% due 05/27/16		108,332,811	
	ベルギー計 (費用 294,579,473円)		<u>321,071,511</u>	社債計		<u>279,373,308</u>	
	中国 (8.2%)			アイルランド計 (費用 265,468,313円)		<u>279,373,308</u>	
	転換社債 (8.2%)			日本 (3.8%)			
	Billion Express Investments, Ltd.			転換社債 (3.8%)			
	0.75% due 10/18/15		178,838,669	Yamada Denki Co., Ltd.			
	China Huiyuan Juice Group, Ltd.			0.00% due 03/31/15		499,000,000	
	4.00% due 04/29/16		594,636,709	転換社債計		<u>499,000,000</u>	
	Homeinns Hotel Group			日本計 (費用 499,963,715円)		<u>499,000,000</u>	
	2.00% due 12/15/15		291,909,175	ルクセンブルグ (5.5%)			
	転換社債計		<u>1,065,384,553</u>	社債 (5.5%)			
	中国計 (費用 897,906,843円)		<u>1,065,384,553</u>	ArcelorMittal			
	フィンランド (3.3%)			4.25% due 03/01/16		242,331,246	
	転換社債 (3.3%)			Fiat Chrysler Finance Europe			
	Solidium Oy			6.38% due 04/01/16		304,648,493	
	0.50% due 09/29/15		436,294,598	Gazprom OAO Via Gaz Capital S.A.			
	転換社債計		<u>436,294,598</u>	4.95% due 05/23/16		171,744,213	
	フィンランド計 (費用 389,440,425円)		<u>436,294,598</u>	社債計		<u>718,723,952</u>	
	フランス (2.9%)			ルクセンブルグ計 (費用 666,165,002円)		<u>718,723,952</u>	
	転換社債 (2.9%)			オランダ (7.7%)			
	Neopost S.A.			転換社債 (7.7%)			
	3.75% due 02/01/15		373,257,325	Lukoil International Finance BV			
	転換社債計		<u>373,257,325</u>	2.63% due 06/16/15		566,135,929	
	フランス計 (費用 338,942,882円)		<u>373,257,325</u>	Wereldhave NV			
	香港 (6.3%)			2.88% due 11/18/15		442,175,753	
	転換社債 (6.3%)			転換社債計		<u>1,008,311,682</u>	
	China Overseas Grand Oceans Finance Cayman, Ltd.			オランダ計 (費用 918,076,323円)		<u>1,008,311,682</u>	
	2.00% due 03/21/17		383,763,883	ノルウェー (1.8%)			
	China Precious Metal Resources Holdings Co., Ltd.			社債 (1.8%)			
	7.25% due 02/04/18		180,571,006	Eksportfinans ASA			
	Newford Capital, Ltd.			2.38% due 05/25/16		239,308,671	
	0.00% due 05/12/16		255,462,496	社債計		<u>239,308,671</u>	
	転換社債計		<u>819,797,385</u>	ノルウェー計 (費用 205,370,670円)		<u>239,308,671</u>	
	香港計 (費用 803,807,602円)		<u>819,797,385</u>				



元本金額	有価証券の明細	純資産に占める割合 (%)	公正価値	元本金額	有価証券の明細	純資産に占める割合 (%)	公正価値
USD 2,800,000	シンガポール (2.5%)			USD 5,000,000	Apollo Investment Corp.		
	転換社債 (2.5%)				5.75% due 01/15/16		611,423,818
	Golden Agri-Resources, Ltd.		322,133,432		Ares Capital Corp. (a)		
	2.50% due 10/04/17		<u>322,133,432</u>		5.13% due 06/01/16		452,453,626
USD 3,800,000	転換社債計		322,133,432	USD 2,200,000	Fifth Street Finance Corp.		
	シンガポール計 (費用 274,235,091円)				5.38% due 04/01/16		269,190,621
	南アフリカ (3.3%)				転換社債計		1,896,935,869
	転換社債 (3.3%)				社債 (5.6%)		
USD 4,000,000	Aquarius Platinum, Ltd.		435,479,993	USD 2,000,000	ABB Treasury Center USA, Inc.		
	4.00% due 12/18/15		<u>435,479,993</u>		2.50% due 06/15/16		243,511,387
	転換社債計		435,479,993		Aon Corp.		
	南アフリカ計 (費用 348,342,113円)		<u>435,479,993</u>		3.13% due 05/27/16		245,014,080
USD 1,800,000	韓国 (4.7%)			USD 2,000,000	Hewlett-Packard Co.		
	転換社債 (4.7%)				2.65% due 06/01/16		243,300,094
	Celltrion, Inc.		407,546,244		社債計		731,825,561
	2.75% due 03/27/18				米国計 (費用 2,291,077,431円)		2,628,761,430
USD 1,000,000	Hanwha SolarOne Co., Ltd.		204,131,247	USD 3,195,625	債券計 (費用 10,735,252,581円)		11,767,658,120
	3.50% due 01/15/18		<u>611,677,491</u>		短期投資 (3.7%)		
	転換社債計		611,677,491		グランド・ケイマン (3.0%)		
	韓国計 (費用 565,761,102円)		<u>611,677,491</u>		定期預金 (3.0%)		
USD 2,000,000	国際機関 (0.9%)			CHF 0	BNP Paribas		381,477,693
	社債 (0.9%)				0.03% due 01/02/15		
	European Investment Bank.		121,860,386		Brown Brothers Harriman & Co.		13
	2.25% due 03/15/16		<u>121,860,386</u>		0.00% due 01/05/15		
USD 2,000,000	社債計		121,860,386	EUR 52,376	Wells Fargo & Co.		
	国際機関計 (費用 116,762,151円)				(0.17%) due 01/02/15		7,605,657
	台湾 (3.8%)				定期預金計		389,083,363
	転換社債 (3.8%)				グランド・ケイマン計 (費用 390,392,524円)		389,083,363
USD 2,000,000	AU Optronics Corp.		266,504,683	HKD 3,271,473	香港 (0.7%)		
	0.00% due 10/13/15				定期預金 (0.7%)		
	TPK Holding Co., Ltd.		231,289,059		HSBC Bank		
	0.00% due 10/01/17		<u>497,793,742</u>		0.01% due 01/02/15		50,344,792
USD 2,000,000	転換社債計		497,793,742	JPY 42,320,476	0.01% due 01/05/15		42,320,476
	台湾計 (費用 427,556,845円)				定期預金計		92,665,268
	U A E (1.3%)				香港計 (費用 91,991,298円)		92,665,268
	転換社債 (1.3%)				短期投資計 (費用 482,383,822円)		481,748,631
USD 2,000,000	Polarcus, Ltd. (a)		167,124,997	USD 4,700,000	投資計 (費用 11,217,636,403円)	93.7	円 12,249,406,751
	2.88% due 04/27/16		<u>167,124,997</u>		負債を上回る現金とその他の資産	6.3	830,309,454
	転換社債計		167,124,997		純資産	100.0%	円 13,079,716,205
	U A E (費用 200,518,969円)		<u>167,124,997</u>				
USD 4,700,000	米国 (20.1%)						
	転換社債 (14.5%)						
	Annaly Capital Management, Inc.		563,867,804				
	5.00% due 05/15/15						

(a) 144 A 証券 - 1933年証券取引法の規則144 Aの下でSECへの登録の適用除外になっている証券。これらの証券は、登録せずに主として適格機関購入者に転売が可能である。他に指定がない限り、これらの証券は非流動的だとみなされない。

2014年12月30日現在未決済になっている円ヘッジクラスの為替先渡契約 (純資産の0.4%)

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	純評価益
JPY	Credit Suisse First Boston	481,555,988	2015年1月30日	HKD	31,160,000	円 2,171,373
JPY	Credit Suisse First Boston	1,756,562,216	2015年1月30日	EUR	11,957,000	20,140,491
JPY	Credit Suisse First Boston	7,117,193,304	2015年1月30日	USD	59,376,000	30,906,158
						円 53,218,022

通貨の略称:

CHF	-	スイス・フラン
EUR	-	ユーロ
HKD	-	香港ドル
JPY	-	日本円
USD	-	米ドル

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・グローバル高利回りＣＢファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）が投資対象として  
いる「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっ  
ておりますので、当ファンドの決算日（2016年3月10日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド  
の組入資産の内容等を25ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2015年9月11日から2016年3月10日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
557	国庫短期証券 2015/12/14	1,500,000			
563	国庫短期証券 2016/1/18	1,150,000			
100	5年国債 0.3% 2016/9/20	1,103,212			
586	国庫短期証券 2016/5/12	1,000,337			
566	国庫短期証券 2016/2/1	999,999			
567	国庫短期証券 2016/2/8	999,999			
574	国庫短期証券 2016/3/14	700,069			
576	国庫短期証券 2016/3/22	700,067			
573	国庫短期証券 2016/3/7	500,099			
584	国庫短期証券 2016/4/25	500,056			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年3月10日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（11,317,590千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2016年3月10日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 5,000,000	千円 5,002,651	% 44.1	% -	% -	% -	% 44.1	% -

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年3月10日現在							
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	574	国庫短期証券	%	千円 700,000	千円 700,003	2016/03/14	
	576	国庫短期証券	-	700,000	700,008	2016/03/22	
	582	国庫短期証券	-	500,000	500,014	2016/04/18	
	584	国庫短期証券	-	500,000	500,030	2016/04/25	
	585	国庫短期証券	-	500,000	500,025	2016/05/02	
	586	国庫短期証券	-	1,000,000	1,000,225	2016/05/12	
	100	5年国債	0.3000	1,100,000	1,102,343	2016/09/20	
合 計	銘 柄 数 金 額	7銘柄		5,000,000	5,002,651		

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

## 運用報告書 第4期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

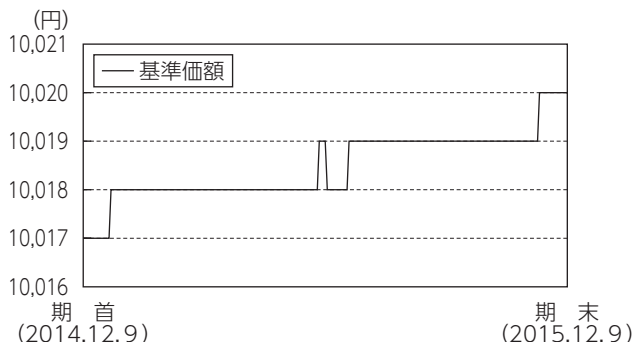
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	公 社 債 率	
		組 入 比 率	組 入 比 率
(期首)2014年12月9日	10,017	—	53.3
12月末	10,018	0.0	72.3
2015年1月末	10,018	0.0	80.5
2月末	10,018	0.0	70.3
3月末	10,018	0.0	59.6
4月末	10,018	0.0	70.6
5月末	10,018	0.0	73.2
6月末	10,019	0.0	69.3
7月末	10,019	0.0	59.4
8月末	10,019	0.0	65.5
9月末	10,019	0.0	51.5
10月末	10,019	0.0	76.0
11月末	10,020	0.0	56.8
(期末)2015年12月9日	10,020	0.0	52.7

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,017円 期末：10,020円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	32,338,160	— (32,240,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
	金 額		金 額
	千円		千円
491	国庫短期証券 2015/5/14		1,999,998
540	国庫短期証券 2015/9/24		1,699,999
555	国庫短期証券 2015/12/7		1,500,000
557	国庫短期証券 2015/12/14		1,500,000
541	国庫短期証券 2015/9/28		1,499,998
532	国庫短期証券 2015/8/17		1,499,995
514	国庫短期証券 2015/5/25		1,499,968
521	国庫短期証券 2015/6/29		1,499,925
502	国庫短期証券 2015/3/30		1,199,993
563	国庫短期証券 2016/1/18		1,150,000

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	5年以上 格以下 組入比率	残存期間別組入比率 5年以上 2年以上 2年末満
	千円	千円	%	%	%
国債証券	6,435,000	6,437,978	52.7	-	52.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期		末	
			額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	557 国庫短期証券	-	1,500,000	1,500,000	2015/12/14	
	336 2年国債	0.1000	185,000	185,022	2016/01/15	
	563 国庫短期証券	-	1,150,000	1,150,000	2016/01/18	
	566 国庫短期証券	-	1,000,000	999,999	2016/02/01	
	567 国庫短期証券	-	1,000,000	999,999	2016/02/08	
	573 国庫短期証券	-	500,000	500,097	2016/03/07	
	100 5年国債	0.3000	1,100,000	1,102,860	2016/09/20	
合計	銘柄数 金額	7銘柄	6,435,000	6,437,978		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
			千円	%
公社債	6,437,978	52.7		
コール・ローン等、その他	5,772,311	47.3		
投資信託財産総額	12,210,290	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	12,210,290,310円	
コール・ローン等	5,771,514,330	
公社債(評価額)	6,437,978,324	
未収利息	668,726	
前払費用	128,930	
(B) 負債	-	
(C) 純資産総額(A - B)	12,210,290,310	
元本	12,186,116,869	
次期繰越増益金	24,173,441	
(D) 受益権総口数	12,186,116,869口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,020円	

\* 期首における元本額は11,884,993,463円、当期中における追加設定元本額は8,064,725,261円、同解約元本額は7,763,601,855円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイ

ワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジあり4,998,495円、ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジなし2,499,247円、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドⅡ（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクトロプレミアム（年2回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワ/N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（年1回決算型）4,995円、ダイワ/N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（年1回決算型）4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-04（為替ヘッジあり/限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-07（為替ヘッジあり/限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-10（為替ヘッジあり/限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015-01（為替ヘッジあり/限定追加型）999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）- スーパー・ハイインカム- α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）- スーパー・ハイインカム- α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ26,536,157円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド- シフト11 Ver 3- 2,395,687,762円、ダイワ日本株式ベア・ファンド- ベアシフト11- 71,870,634円、ダイワ日本株式ベア・ファンド- ベアシフト11 Ver 2- 29,945,799円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド- シフト11 Ver 5- 2,095,808,384円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース10,980,236円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース7,487,022円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース3,593,631円、ダイワ/N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（毎月分配型）29,988,005円、ダイワ/N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（毎月分配型）1,999,201円、通貨選択型 ダイワ/N B・米国債券戦略ファンド 日本円コース（毎月分配型）1,002,195円、通貨選択型 ダイワ/N B・米国債券戦略ファンド通貨セレクトコース（毎月分配型）3,011,774円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス - インカムチェンジ（横立型）- 7,515,709円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）- シフト11- 3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）- シフト12- 2,626,169,333円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）- シフト13- 1,287,713,056円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,020円です。

■損益の状況

当 期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,173,485円
受取利息	3,173,485
(B) 有価証券売買損益	△ 382,400
売買益	1,050
売買損	△ 383,450
(C) 当期損益金(A + B)	2,791,085
(D) 前期繰越増益金	20,640,762
(E) 解約差損益金	△ 14,198,145
(F) 追加信託差損益金	14,939,739
(G) 合計(C + D + E + F)	24,173,441
次期繰越増益金(G)	24,173,441

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。